

# 牛久：学校周辺に見る自然

第16号 ひたち野西近隣公園（ひたち野うしく小）

2013年8月30日発行

## ＜ 夏の動物観察 ～みずべ公園 ⑦その他 ＞

ひたち野うしく小3年生と歩いた、夏のみずべ公園シリーズ。最終回の今回は植物も含め、①～⑥以外の生きものたちの紹介です。



今回も、観察ビンゴカードを手にいろいろな動物を観察し、後半はそれらの中から1, 2種をじっくり観察、記録しました。草はらではちょうどくまか草刈りが行われていたが、思っていた以上にいろいろな生きものを見つけました。生きもの好きの3年生たち、楽しんで、またきょうみを深めてくれたでしょうか？暑い中、ぼうしと水とうも忘れていませんね。さすがです。



茨城県では珍しいブチヒゲカメムシ(左)と、細身のホソヘリカメムシ(右)。

全国的には珍しくありませんが、茨城県では絶滅危惧Ⅰ類に指定されているカメムシがいました。ブチヒゲカメムシといい、茶色の体に背中<sup>せなか</sup>の白いもよう、両わきと触角<sup>しよつかく</sup>のしまもようが特ちょう。ダイズやゴマなどの害虫で、稲の穂も食べるそうです。みずべ公園では、イネ科の草にいました。

もう1種類、何かにおそ<sup>おそ</sup>襲われたのか、あしが4本になってしまったカメムシがいました。ホソヘリカメムシです。その名の通り、ほっそりとしたスマートな？カメムシですが、ダイズやインゲンなどマメ科植物の害虫で、飛んでいる姿がアシナガバチに似ているという人もいます。また、4齡幼虫<sup>れいようちゆう</sup>はアリにそっくりだそうで一度見てみたいと思っていますが、成虫は普通に見ているので、パッと見ただけではアリと区別つかないのかもしれないですね。



えものを食べるシオヤアブ(右上)と、草むらから出てきたカナヘビ(左下)、アスファルトの割れ目のダンゴムシ(右下)。

草の葉にとまっている**シオヤアブ**がいました。よく見ると、ハナアブがハチか、<sup>ふくぶ</sup>腹部にしまよ  
うのある昆虫を食べていました。

シダレヤナギの下のアスファルトの割れ目には、たくさんの**ダンゴムシ**を見つけましたね。

「オタマジャクシの池」にも、アメンボの仲間がたくさん見られました。その手前の草むらからは、しっぽの長〜い**カナヘビ**が出てきましたね。こんなに長くて、じゃまにならないのでしょうか？



広い池には、大きな  
白さぎ、**ダイサギ**が  
いました。ぬき足さし  
足と、えものを探して  
いるようなようすでし  
たね。草はらではハ

ぬき足さし足、えものを探すダイサギ(右上)と、草はらで虫を捕ま  
えたハクセキレイ(左下)、木の枝ではシジュウカラが食事中(右下)。

**クセキレイ**が、木の枝では**シジュウ  
カラ**がえものを捕まえたようですよ。



今回の観察テーマは「夏の動物」でしたので観察ビンゴカードも動物の絵ばかり入れましたが、植物の変わった姿を見つけてくれたお友だちもいました。いくつか紹介しましょう。

道路に近い排水口の上では、**ヒイラギナンテン**の実がだいぶ黒紫色に色づいてきました。鳥が食べて、種子を運んでくれるようです。花は虫がみつを吸いに来ると雄しべが曲がり、虫に花粉をつけて運ばせると紹介したあの植物です(23年度第14号を参考に)。

以前紹介した**シラカシ**のふた子、三つ子のドングリも見つかりました(23年度第50号参考)。

もう赤く色づいた桜の落ち葉を見つけてくれましたが、何やらふくらんだ実のようなものがついています。これは虫こぶ、中を開いたらアブラムシの脱皮からがたくさんありました。中で桜の葉から栄養を奪っていたのは、虫こぶの形からたぶん**サクラフシアブラムシ**と思います。

同じく虫こぶが大きくふくらみ始めていたのが**エゴノキ**です。春にはクマバチなどがたくさんみつを吸いに来ていました(第4号参考)。虫こぶはバナナの房のようにも見えますが、名前をつけた人にはネコの足のように見えたようで、「**エゴノネコアシ**」と呼ばれています。 【理科支援員：宮内】

実が黒紫色にじゅくしてきた**ヒイラギナンテン**(右上)と、**シラカシ**のふた子、三つ子の若いどんぐり(右下)、アブラムシが寄生した桜の葉(左中)と**エゴノネコアシ**(左下：上についているのは若い実)。

